



ドッコ沼のある蔵王中央高原



鳥兜山山頂付近



上山市のリナワールド

家族で行きたい夏の山形蔵王

みちのく

山形市蔵王温泉

蔵王四季のホテル

ココロとカラダの

癒し旅

夏休み、みなさんはご家族で旅行の計画をたてておられるだろうか。この夏のドライブ旅行に、山形蔵王あたりはいかがだろう。

蔵王といえばスキー場のイメージが強く、夏場は特に注目されないけれども、実は夏の蔵王もなかなか捨てがたいのだ。温泉はふんだんに湧いているし、標高一、〇〇〇m超級の高原散策を楽しめるし、近くには本格的なテーマパークもあるしと、家族旅行にはおあつらえ向きの要素が、蔵王には溢れている。

新しいニュースもいくつかある。その一つが、蔵王を代表するビューポイント「お釜」の近くに今年五月に完成した「バリアフリー展望台」。有料道路の蔵王ハイラインの終点にある展望台の路面が平坦に整備され、今までは行き来が困難だったベビーカーやお年寄り、車イスの人でも、無理なくお釜の奇観を楽しめるようになったのだ。

もう一つのニュースは、東北中央自動車道・東根IC～山形上山IC間の開通。実は、秋田から山形方面へのドライブは意外に長丁場を強いられるのだが、昨年九月に開通したこの区間と秋田自動車道、湯沢横手道路を利用すると、秋田市からの場合、一般国道経由と比べて一時間二十分ほど時間短縮となり、蔵王温泉まではおおむね四時間以内と、とても魅力的な到達時間になったのだ。



蔵王一のビューポイント「お釜」。温泉街からは車で40分ほど。昨年、この景観を車イスに乗ったまま楽しめるバリアフリー展望台が完成した



蔵王高原の自然のまっただ中に建つホテル

今年の蔵王のニューフェイス

蔵王温泉には、ホテルや旅館、民宿やペンション、それに企業等の保養施設など、あわせて百四十軒ほどの宿がある。その中でもっとも新しい宿が今回ご紹介する「蔵王四季のホテル」だ。今年四月にスタートしたばかり。パカンス気分をもり立てるリゾートムードに溢れたホテルとして、今年の夏の旅行先にお勧めしたい。収容人員は二百名あまりと規模は大きめだが、個人客主体の営業方針だそうで、家族でのんびり休日を過ごす宿としてぜひチェックしておきたい一軒だ。

最新のホテルとはいえ、実は、蔵王でも老舗の温泉旅館の系列館になっている。母体の「おみや旅館」は、修験者の宿坊からはじまっておおよそ千年ほどの歴史を持つという、蔵王でもっとも歴史のある宿の一軒なのだ。ご当主はなんと三十四代目というから、それだけ聞いても、ちよつと気の遠くなる話。もう一軒、蔵王国際ホテルというところも系列館になっていて「蔵王四季のホテル」の宿泊客は、この二つの宿の温泉浴場にも入浴できることになっている。温泉ファンであればこのサービス、見逃す手はない。

当館内の大浴場も、サウナやジャグジー、打たせ湯などが備わっていて、日ごろの疲れが癒される。また、体の不自由な人向けの手すり付きのバストイレームもあるのので、お年寄りや車イスの人と連れ立っての旅行にも好適。

洋室タイプの部屋もある



客室は家族向けの和室が中心



リゾート感覚あふれるホテルロビー



ホテル宿泊者は姉妹館の蔵王国際ホテルの露天風呂も利用できる



大浴場にはサウナ、ジェットバス、ジャグジー、打たせ湯を完備



体の不自由な人のためのバストイレームが館内に設けられている





アイナメのラ外ウーユソース添え



山形牛の石焼きステーキ



オリジナルのそばの
アイスクリーム

見た目の豪華さにこだわらない献立が好ましい

朝食はバイキング。朝日の差し込む明るいレストランで、今日一日分のスタミナ源に、少し多めにお腹に詰め込んでおくのもいいだろう。

もし早起きが苦手でなかったら、ホテルに泊まった翌朝は少し早起きして、朝食の前にホテルの前に広がる周囲1.5kmの「鳴(しぎ)の谷地沼」のほりを散策してみたい(たとえば、子どもたちは寝かせたまま夫婦だけでとか)。一周約三十分、冷涼な朝の空気、深緑色の湖水、優しい山容の蔵王連峰、そしてせみ時雨。蔵王にもこんな優しい自然があったのかと、新鮮な感動を受けるだろう。

食事には朝夕とも一階のレストランで。窓の外は白樺林。リゾート気分を満喫しながらの食事だ。見た目の豪華さや量を誇らない素朴な感じのする和洋折衷の献立が好ましい。山形牛の石焼きステーキが美味。また、ホテル自家製というそばのアイスクリームもなかなかおいしかった。

旅のダイニングは朗らかに



鳴の谷地沼のほとりの横倉滝

ホテルの前に広がる周囲1.5kmの「鳴の谷地沼(しぎのやちぬま)」は手ごろな散策コース。対岸は蔵王連峰



鳥兜山展望台から眺めた蔵王温泉街

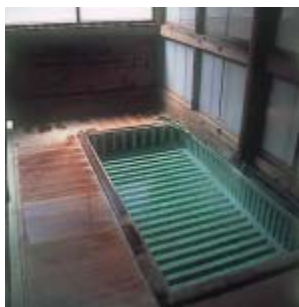


「お釜」をめぐる蔵王ハイラインは標高1,500m級の高地を行く

これが蔵王名物「玉こんにゃく」。しょうゆのしみ込んだこんにゃくの味は、ちょっとクセになる。4個で100円なり



夏場の蔵王中央高原へは、車でもロープウェイでも登ることができる



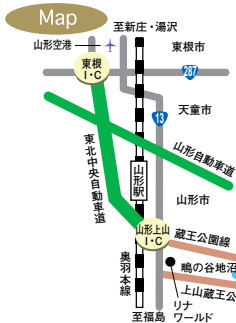
蔵王温泉街には誰でも気軽に利用できる共同浴場が3カ所ある。ここはその一つの「川原湯」。湯舟の底はすのこ状になっていて、その下から湯が湧いている

ZAOSHIKINOHOTEL

施設のご案内

- 客室数45室 (和室・洋室・和洋室・特別室)
- 定員214名
- 駐車場50台
- 宴会場 (大1・中1・小3)
- 健康になる温泉 [弱アルカリミネラル泉] (サウナ・ジェットバス・パイプラ・ジャグジー・うたせ湯)
- レストラン ●スナック
- ロビー・ラウンジ
- カラオケルーム
- 麻雀ルーム
- 売店 ●コインランドリー

お一人様1泊2食付
10,000円より (税別)



ドライブ・インプレッション

今回の取材車は 日産スカイラインクーペ 350GT

蔵王のように険しい山岳ルートをドライブしても、まったくストレスを感じさせない“運動能力”が驚き。きついカーブの終わりや急な上り坂でも、アクセルに合わせて極めて機敏な走りをする。インテリアには実用性を重視した装備がふんだんで、こういうスポーツカーの性能と高級車の快適性を兼ね備えた車があると、出かけたい場所がぐんと増えるような気がする。子どもたちが立ち立ちした夫婦など、“大人”にこそ乗ってほしい一台だ。

(取材車提供/日産プリンス秋田)



「蔵王四季のホテル」を拠点にした観光としては、冒頭で紹介した「お釜」へのドライブ (ホテルから約三十五分) や、蔵王中央高原の散策がお勧め。冬にはスキーヤーでにぎわう蔵王中央高原へは、グリーンシーブンはロープウェイでも車でも、どちらでも登ることができる。あたりの標高は一、〇〇〇mを超えており、猛暑の夏でも爽快なひとときを過ごせること請け合い。

また、温泉ファンであれば、蔵王温泉街の共同浴場や名物の大露天風呂も

ぜひ訪れてみたいもの。いずれも、温泉街入口の観光案内所に立ち寄り、パンフレットを入手するといいたいだろう。もう一つ、ホテルから車でおよそ三十分のテーマパーク「リナワールド」も子ども連れには特にお勧め。ここは東北を代表する本格的な遊園地。子ども向けの遊具から絶叫マシンまで、ざっと三十あまりのアトラクションがそろっていて、大人から子どもまで、一日いても飽きさせない充実の内容。ちなみに、ここも通路のスロープ化や車イス用トイレの設置など、バリアフリーの配慮がなされている。

(文・写真/かとうりゅうせい/秋田市)



〒990-2301 山形市蔵王温泉1272
TEL.023-693-1211 Fax.023-693-1213
ホームページアドレス <http://www.zao-onsen.jp>
Eメールアドレス zaoshikinohotel@zao-onsen.jp



リナワールドは東北を代表する本格的なテーマパーク。大人も子どもも楽しめる。蔵王四季のホテルからは車で30分ほどの距離にある

ぶらぶらと車で巡りたい